

助動詞can(疑問文)

You **can** read this kanji.



**Can you** read this kanji?



Yes, I **can**.

No, I **can't**.

No, I **cannot**.



Point

- ①「～できますか」とたずねるときには「**can**」を文の一番前に出します。
- ② 否定の答えのときに「**can't**」と「**cannot**」を使います。「can not」は基本的には使いません。「**can't**」と「**can**」が音声的には区別しにくいいため、誤解を招かないように「**cannot**」を使います。会話の中では、表情やジェスチャーも入るため、「**can't**」と「**can**」は区別しやすいです。
- ③疑問文の答えでは誰のことをたずねられているのか、**誰のことを答えれば良いのか**を意識しましょう。

助動詞can(否定文)



I **cannot** eat salmon.

I **can't** eat salmon.

Point

- ①「～できません」と否定の表現をするときには「**can**」の後に「**not**」を加えます。ただし「can not」ではなく、「**cannot**」です。「can not」は基本的には使いません。
- ②「**cannot**」の短縮形に「**can't**」があります。「**can't**」は「**can**」が音声的には区別しにくいこともあります。しかし、実際の会話の中では、表情やジェスチャーも入るため、「**can't**」と「**can**」は区別しやすいです。どちらを使ってもかまいません。

1. 次の対話文が成り立つように( )内に適切な語を入れましょう。

(1) A: ( ) you swim?

B: Yes, I can.

(2) A: Can Ren speak English?

B: Yes, he ( ).

(3) A: Can you make a cake?

B: No, I ( ).

(4) A: ( ) they dance?

B: No, they cannot.

2. 次の文を疑問文(たずねる文)にして、( )内にある Yes か No でその答え方も書きましょう。

(1) You can play basketball. ( Yes )

\_\_\_\_\_

(2) You can speak English. ( No )

\_\_\_\_\_

(3) He can ski well. ( Yes )

\_\_\_\_\_

(4) She can play the piano. ( No )

\_\_\_\_\_

3. それぞれの英文を「～できません。」という否定文を表す表現にしましょう。

(1) I can dance well.

\_\_\_\_\_

(2) You can play baseball.

\_\_\_\_\_

(3) He can run fast. \*fast 速く

\_\_\_\_\_

4. 日本語の意味を表すような英文を書きましょう。

(1) 私たちはここで (here) サッカー (soccer) をすることができますか。

\_\_\_\_\_

(2) あなたは車を運転 (drive a car) することができません。

\_\_\_\_\_

(3) 美桜 (Mio) はピーマン (green peppers) を食べることはできません。

\_\_\_\_\_

助動詞can(疑問文)

You **can** read this kanji.



**Can you** read this kanji?



Yes, I **can**.

No, I **can't**.

No, I **cannot**.



Point

- ①「～できますか」とたずねるときには「**can**」を文の一番前に出します。
- ② 否定の答えのときに「**can't**」と「**cannot**」を使います。「can not」は基本的には使いません。「**can't**」と「**can**」が音声的には区別しにくいいため、誤解を招かないように「**cannot**」を使います。会話の中では、表情やジェスチャーも入るため、「**can't**」と「**can**」は区別しやすいです。
- ③疑問文の答えでは誰のことをたずねられているのか、**誰のことを答えれば良いのか**を意識しましょう。

助動詞can(否定文)



I **cannot** eat salmon.

I **can't** eat salmon.

Point

- ①「～できません」と否定の表現をするときには「**can**」の後に「**not**」を加えます。ただし「can not」ではなく、「**cannot**」です。「can not」は基本的には使いません。
- ②「**cannot**」の短縮形に「**can't**」があります。「**can't**」は「**can**」が音声的には区別しにくいこともあります。しかし、実際の会話の中では、表情やジェスチャーも入るため、「**can't**」と「**can**」は区別しやすいです。どちらを使ってもかまいません。

1. 次の対話文が成り立つように( )内に適切な語を入れましょう。

(1) A: ( **Can** ) you swim?

B: Yes, I can.

(2) A: Can Ren speak English?

B: Yes, he ( **can** ).

(3) A: Can you make a cake?

B: No, I ( **can't / cannot** ).

(4) A: ( **Can** ) they dance?

B: No, they cannot.

2. 次の文を疑問文(たずねる文)にして、( )内にあるYesかNoでその答え方も書きましょう。

(1) You can play basketball. ( Yes )

**Can you play baseball?**

**Yes, I can.**

(2) You can speak English. ( No )

**Can you speak English?**

**No, I cannot.  
(No, I can't.)**

(3) He can ski well. ( Yes )

**Can he ski well?**

**Yes, he can.**

(4) She can play the piano. ( No )

**Can she play the piano?**

**No, she cannot.  
(No, she can't.)**

3. それぞれの英文を「～できません。」という否定文を表す表現にしましょう。

(1) I can dance well.

**I cannot ( can't ) dance well.**

(2) You can play baseball.

**You cannot ( can't ) play baseball.**

(3) He can run fast. \*fast 速く

**He cannot ( can't ) run fast.**

4. 日本語の意味を表すような英文を書きましょう。

(1) 私たちはここで( here )サッカー( soccer )をすることができますか。

**Can we play soccer here?**

(2) あなたは車を運転( drive a car )することができません。

**You can drive a car.**

(3) 美桜( Mio )はピーマン( green peppers )を食べることができません。

**Mio can't ( cannot ) eat green papers.**